

2015年10月 定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

10 月	1 日	生物多様性を育む農業国際会議実行委員会、MCA無線訓練
	4 日	うつのみや食育フェア
	7 日	関東甲信越行政生協関係連絡会
	8 日	栃木県生協連沖縄問題学習会
	12 日	とちぎ消費者カレッジ作新短大
	13 日	消費者ネットワーク学習会
	15 日	栃木県次期プラン策定懇談会、宇都宮市中央卸売市場運営協議会
	16 日	食の安全ネットワーク世話人会
	17 日	いわき四倉ボランティアお茶会
	20 日	理事会
	22 日	とちぎ食品安全フォーラム
	25 日	協働まつり、平成27年度栃木県・県央地区災害対応訓練
	26 日	小山市総合計画懇話会
	27 日	とちぎ消費者カレッジ宇都宮大学
29 日	栃木県消費生活安定対策審議会、栃木県孤立死防止見守り事業(とちまる見守りネット)連絡会議	
30 日	理事長専務会議	
11 月	2 日	くらし部会
	5 日	とちぎ消費者カレッジ作新学院大学・栃木県番組放送審議会
	6 日	理事・幹部職員定期学習会
	9 日	食と農をつなげる会・適格消費者団体研究会
	10 日	常務理事会、消費者ネットワーク幹事会
	11 日	第2回大規模災害対策協議会
	12 日	栃木県食品安全セミナー
	17 日	栃木県生協連原発再稼働学習会・JA 大会・消費者カレッジ
	18 日	栃木県農政審議会
	26 日	とちぎ消費者カレッジ栃木県農業大学校
28 日	いわき四倉お茶会	
12 月	3 日	栃木県食品安全セミナー
	5・6 日	eco テック&ライフとちぎ 2015
	7 日	2015 食と農をつなげる会
	8 日	理事会
	14 日	理事・幹部職員定期学習会
	16 日	消費者カレッジ國學院栃木短期大学
17 日	食の安全ネットワーク全体会	

【10月の振り返り】

◇行政関係

・懇談会・審議会への参加

- 15 日 栃木県次期プラン策定懇談会(竹内会長出席)
- 26 日 小山市総合計画懇話会(竹内会長出席)
- 29 日 栃木県消費生活安定対策審議会(竹内会長出席)

・その他

- 1 日 生物多様性を育む農業国際会議実行委員会 小山市(竹内会長出席)
- 15 日 宇都宮市中央卸売市場運営協議会(江波戸理事出席)
- 25 日 平成27年度栃木県・県央地区災害対応訓練(大島出席)
- 29 日 栃木県孤立死防止見守り事業(とちまる見守りネット)連絡会議(江波戸理事出席)

◇ネットワーク活動

- 12 日 とちぎ消費者カレッジ作新短大
- 13 日 消費者ネットワーク学習会 奨学金問題 講師:消費者ネットワーク幹事 弁護士 小倉崇徳氏
- 22 日 とちぎ食品安全フォーラム「知ろう、防ごう、食中毒」～正しく知って食中毒を防ごう!～(県と共催)
- 27 日 とちぎ消費者カレッジ宇都宮大学

◇県連活動

- 8 日 沖縄問題学習会 講師:沖縄住民と自治研究会世話人/沖縄県生活と健康を守る会連合会理事 湧田廣氏

◇被災地支援

- 17 日 いわき四倉ボランティアお茶会

以上

県連活動


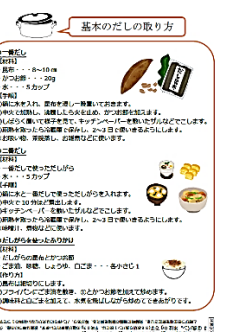
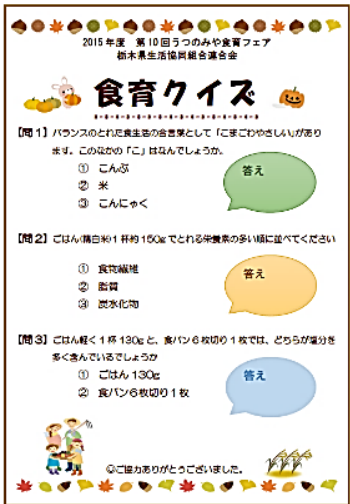
1. 機関運営

- 10月20日(火)、2015年度第3回理事会を開催しました。
- 10月30日(金)、2015年度第2回理事長専務会議を開催しました。

「前川総合研究所、主任研究員(元前川製作所専務) 岩崎 嘉夫 氏」を講師にお迎えし「前川のモノづくり、人づくり」についてお話しを伺いました。前川製作所は事業高 1100 億の大企業ですが、開業以来「共創と場」を中心において企業経営をしてきました。共創は1人ではなく、何人かで物を作り上げることで深まり、場は、情報が共有でき、人とつながる、そういうことを大切にすることです。参加者からは、聞きたかった事が聞ける良い学習会だった、という声をいただきました。

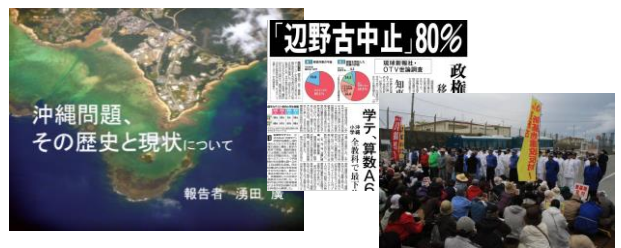
2. 暮らし部会

- 10月4日(日)、宇都宮城址公園にて「第10回うつのみや食育フェア宮っこ食べっこ元気っ子～楽しく知ろう食のチカラ～もっとおいしくもっと健康に!」が開催されました。パネル展示と食育クイズの出題「天然だしパック」の配布等を行いました。快晴で人出も多く、300名分用意したクイズ、プレゼントともに12時30分頃には終了し、その後2時30分までパネル展示のみを行いました。

展示内容、配布資料	クイズ
<p>◎よつ葉生協 「習慣にしたい合言葉『こまごわやさしい』」 ①こまごわやさしいって何?(習慣にしたい合言葉) ②雑穀(いつ食べるの…今でしょ!)</p> 	<p>(1)バランスのとれた食生活の合言葉として「こまごわやさしい」があります。この中の「こ」はなんでしょうか ①こんぶ ②米 ③こんにゃく</p> <p>(2)ごはん(精白米)1杯約 150g でとれる栄養素の多い順に並べてください ①食物繊維 ②脂質 ③炭水化物</p> <p>(3)ご飯軽く一杯 130gと、食パン6枚切り1枚では、どちらが塩分を多く含んでいるでしょうか ①ごはん 130g ②食パン6枚切り1枚</p>
<p>◎生活クラブ生協 「ごはんを食べよう!」 「サステナブルな人」</p>	<p>＜答え＞ 1 ②米 (☑米☑豆類☑ごま☑わかめ等の海藻類☑野菜類☑魚類☑しいたけなどのきのこ類☑いも類) 2 ③炭水化物(55.7g) ①食物繊維(0.5g) ②脂質(0.45g) 3 ②食パン。米は0gです(6枚切り食パン1枚には、平均0.7gの塩が含まれています。役割は味つけの他、グルテンと結びつき生地を安定させる、発酵時に雑菌の繁殖を抑える、等があり、パン作りには欠かせない材料の1つです。</p>
<p>◎とちぎコープ生協 「手作りだして減塩しませんか」 ①都道府県別食塩摂取量 ②調味料、加工食品に含まれる塩分量 ③ナトリウムの食事摂取基準 ④だしの飲み比べ だしのとり方⇒</p> 	

3. 県連学習会

- 10月8日(木)、組合員・役職員学習会「沖縄問題、その歴史と現状について/講師:沖縄県民と自治研究会世話人/沖縄県生活と健康を守る会連合会理事 湧田 廣 氏」を開催しました。沖縄の方々の苦しみ、哀しみ、怒り、テレビなどでは知ることのできない「人の声」が持つ重さと現実と直接触れ、参加者からは「貴重な時間だった」「同じ日本の中で起きている、日本人全員の問題として捉えていかなければならない」「沖縄につけを回し続けている我が身を振り返り、何か行動を起こす責任がある」という声など



がありました。引き続きこの問題を注視し続けていく必要があります。また、講師の湧田様より、栃木県の豪雨被害に対するお見舞いを頂きました。

4. 行政関係

〈懇談会・審議会への参加〉

- 10/15(木)、栃木県次期プラン策定懇談会に、会長理事が出席しました。
- 10/29(木)、栃木県消費生活安定対策審議会に、会長理事が出席しました。
- 10/26 日(月)、小山市総合計画懇話会に会長理事が出席しました。
- 10/7(水)、関東甲信越行政生協関係連絡会に、専務理事と、栃木県くらし安心安全課から佐久間様が出席しました。
- 10/15(木)、宇都宮市中央卸売市場運営協議会に理事が出席しました。

〈その他〉

- 10/1(木)、来年8月26日(金)～28日(日)に開催される「ラムサール条約湿地〈渡良瀬遊水地〉登録4周年記念 第4回生物の多様性を育む農業国際会議(ICEBA)2016」に向け、「生物多様性を育む農業国際会議実行委員会」に会長理事が出席しました。
- 10/25日(日)、第12回とちぎ協働まつり2015!“わくわく”～小さなわくわく、みんなとつながる！～が、栃木市総合運動公園にて開催されました。子育てエリア、昔遊びやクラフト体験などに協力しました。

子育てエリアの様子⇒



- 10/29(木)、栃木県孤立死防止見守り事業(とちまる見守りネット)連絡会議に理事が参加しました。現在までの緊急事例の報告・発表などを含め、今後に活かせるよう交流を行いました。
- 平成27年度栃木県・県央地区災害対応訓練を行いました。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 10/22日(木)、とちぎ食品安全フォーラム

第14回とちぎ食品安全フォーラム「知ろう、防ごう、食中毒」～正しく知って食中毒を防ごう！～を開催しました。基調講演として「正しい知識で食中毒対策を！＝講師:厚生労働省医薬食品局食品安全部 監視安全課 食中毒被害情報管理室 食中毒対策係長 森吉 美樹 氏」を行いました。その後、食中毒予防の取り組みについて、県から「栃木県保健福祉部生活衛生課 食品安全推進班 副主幹 見目 晃彦 氏」、事業者として「株式会社 日本栄養給食協会 営業本部企画開発課 課長 入江成子 氏」からの報告がありました。

それらを受けてのパネルディスカッションでは、パネリストに「基調講演者・食品事業者・県の生活衛生課・消費者」が登壇し、消費者代表パネリストとして、よつ葉生協の齋藤理事が日頃の経験を通じた家庭での注意点等の発言をされました。

- 10/16日(金)、食の安全ネットワーク世話人会を開催しました。
内容は、9/17に行った学習会「新たな食品表示制度と機能性表示の食品について」のアンケート集計報告と、10/22の食品安全フォーラム開催計画、11月12日(木)食品安全セミナー「輸入食品の安全性について」、12月3日(木)食品安全セミナー「題未定」等の検討を行いました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 10/13日(火)、消費者ネットワーク学習会

奨学金も消費者問題！！～みんなで奨学金問題を考えよう～ / 講師:弁護士 小倉崇徳 氏(とちぎ総合法律事務所)を開催しました。参加者43名でした。



奨学金も消費者問題！！
～みんなで奨学金問題を考えよう～

とちぎ総合法律事務所
弁護士 小倉崇徳

3 奨学金と住宅ローン

→早めに専門家に相談することが肝心！

【「奨学金」といって、多くの方が苦学生のために国が貸してくれる優しい制度、をイメージすると思います。しかし、そのような牧歌的な時代はもう終わり、今は奨学金は「教育ローン」と化しているのです。私は奨学金問題対策全国会議に加盟し、栃木県において奨学金問題に苦しむ方々のために活動を行っています。代表的な奨学金である日本学生支援機構(機構)では当初、無利子の奨学金(第1種)の一時的な補完措置とされた有利子の奨学金(第2種)が、拡大を続け、今やその事業予算は無利子の3倍です。延滞金の利率も年10%とサラ金の金利並みに高く、返しても元金が減らないケースも少なくありません。ぜひ、みなさんと一緒に奨学金問題について考えてみたいと思います・・・学習会のレジュメより】

● とちぎ消費者カレッジを開催しました

<p>10/12 日(月)、 作新学院大学女子短期大学部・ライフデザインカレッジ 1年生対象 参加者127名</p>	<p>10/27 日(火)、宇都宮大学 「奨学金返還説明会」に合わせ、奨学金を利用している各最高学年生対象 参加者89名</p>
<p>ストップ・ザ・悪徳商法！ ～いま、みなさんが狙われています～</p>	<p>奨学金も消費者問題!! ～返還トラブル予防講座～</p>
 <p>講師: 弁護士 小倉崇徳 氏(とちぎ総合法律事務所)</p>	
<p>「契約」について・消費生活相談事例・悪徳商法のカモにならないために・加害者にならないため・借金について等、実際に小倉弁護士の携帯に届いた架空請求の画面を紹介したり、クイズを織り交ぜる等、学生に問い掛けながらの講義を行いました。学生が質問を記入した付箋を集め、回答と補足説明も行いました。</p> 	<p>返済時に、どのような事が問題となるのか、トラブルの未然防止や、その解決策等について、参加型の手法でカレッジを行いました。</p>  <p>自身の将来を考えながら「家計」について計算中</p>
<p style="text-align: center;"><u>アンケートより</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 人間関係を崩してしまうネットワークビジネスはこわいと思った。もし何かの契約をしてしまっても未成年であれば取消権がある事を初めて知った。でもそのような詐欺に引っかからないようにしようと思った。 知らないことだらけで、今日の「消費者カレッジ」で勉強になり、初めて知る事ができました。 消費生活センターというものがあるのを初めて知りました。もし、変だなと思ったことなどがあった時には気軽に相談したいと思います。 	<p style="text-align: center;"><u>アンケートより</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 来年から社会人になるが、奨学金の返還やその他のローンや支出の事についてお話を聞けた為、今後金銭面においても自己管理をすべきだなと実感できた。また、困った時の対処法も知る機会になったと思う。 平均的な生活費や、住宅ローン、クレジットカードについて基礎的情報を知る事ができ有意義であった。確かに給料が低い社会人1年目から毎月払うのは負担になるが、計画的に返済できるよう気をつけたい。 後半の話がためになりました。専門の人が話すとは違って思います。

震災支援活動

1. 関東・東北豪雨被害、支援報告

- 10/2(金)、8(木)、20(火)、栃木市と小山市に設置されている避難所へ、炊き出しを行いました。



①実施日 2015年10月2日(金)
 避難所⇒栃木市□長寿園 61食(34世帯54名) □中央小学校 6食(7世帯10名)
 □小山市・第三小学校 16食(17名) □寒川小学校 32食(23名)
 調理会場⇒一般社団法人コープ福祉とちぎ 喜沢事業所調理室 115 食用意
 メニュー⇒カレーライス、ポン酢着け、梨、お茶 参加者 17名



②実施日 2015年10月8日(金)
 避難所⇒□栃木市、長寿園(53食) □小山市、寒川小学校(32食) 85食予定
 調理会場⇒一般社団法人コープ福祉とちぎ 喜沢事業所調理室 100 食用意
 メニュー⇒ご飯、豚汁、揚げ餃子、ポン酢着け、梨、みかん、お茶 参加者 17名

③実施日 2015年10月20日(火)
 避難所⇒ □栃木市・長寿園 27食予定
 調理会場⇒社会福祉法人ふれあいコープ みどりの樹 30 食用意
 メニュー⇒ご飯、おでん、ウインナーとキャベツの炒め物、漬け物、梨、お茶 参加者 10名

スタッフ感想

- ① 災害から3週間、伺った時には3家族の方がそこで生活されていました。ガランとした体育館の中で、畳と薄いお布団があるだけで衝立もテーブルも無く、お持ちした食事も床に置いて召し上がられていました。とても何週間も生活できる環境ではないと感じました。ある家族の方は、ペットのハムスターを連れて避難をされており、その点では少しほっとした気持ちになりました。そのご家族は、私たちが伺った次の日には帰宅されるとのことでしたが、被災された当時の様子をうかがったところ、夜の8時くらいからあれよあれよと家の中が浸水してしまい、本当に怖かったと話して下さいました。
- ② よつ葉生協の方が泥だしに行ったお宅の、年配の男性が1人で避難。足が少々ご不自由。胸まで水に浸かったが着替えが無く、3日そのままだったとのこと。避難所に古着が届くものの、女性用がほとんどで、体格の良い男性用が足りず、同じものを洗って着ている。
- ③ 明後日は避難所を閉鎖するということでしたが、おひとりの高齢の男性の方からは「これからどうするのか」と家に戻っても住めない状況があることを不安に思っている様子でした。
- ④ 女性の年配の方「最近栃木市から娘夫婦のところへ越してきた、そうしたら、こんなことになってしまって」と一区切りつけてから「だから、知っている人が誰もいなくてね」と話されていました。娘夫婦は仕事なので、お一人の食事。「いつもはこの時間に帰ってくるのだけど、帰りが遅くて(待たせてしまって)ごめんね」と何度もおっしゃっていました。「帰りが遅くなっても、ご飯を置いていきますから、大丈夫ですよ」と声をかけましたが、お一人でいることが不安のようでした。
- ⑤ 奥さまの介護が必要なご夫婦や、高齢の方もいらっしゃったので、避難所で暮らすのには大変だろうな…と感じました。1階と2階とで生活スペースが分かれており、2階には小さなお子さんのいらっしゃる家庭の方が避難されているようでした。栃木市の市営住宅に住んでいた方は、被害が大きく、もうお戻りになれない方もいらっしゃったようです。話しを伺ったところ、大雨の降った9月9日からずっと避難生活をされているとのこと、疲れている様子の方もいらっしゃいました。
- ⑥ 1週間前よりは10名ほど人数が減っていましたが、それでもまだたくさんの方がそこで生活を送られていました。災害から丸1ヶ月が経過しており、お疲れもピークなのではと感じました。「お茶碗でご飯が食べられて嬉しい」「汁物がいただけて本当にありがたい」等の声をいただくことができました。
- ⑦ 持病がある方など、別部屋で食事を摂られている方もいらっしゃり、年配の母親を介護されている男性は、おでんの汁をご飯にかけてあげると食べ易いとお代わりされたので、つゆを多めにし、スプーンをお渡ししました。
- ⑧ 梨が余りそうだったので、最初は2つずつ配っていたのですが、3個ずつのお皿も作ろうとしたところ、市の担当者に「皆同じ数にしてください」といわれ、そのようにしましたが、少しピリピリしているなど感じました。
- ⑨ 「カレーが食べられるなんて思わなかった」「野菜がさっぱりする」「果物は久しぶり」と、嬉しそうにお代わりをしてくださったりと、野菜と果物が特に喜ばれたようです。
- ⑩ 「炊き出し」と一言でいっても、避難生活を続けている方が何を食べたいと欲しているのか、満足していただけるために何が必要なのか、避難されている方たちの想いに寄り添い、考え、行動していくことが大切だと感じています。

- 行政の行う被災者支援ボランティアに参加、協力しました。情報の提供や、各生協からの参加集約などを行い、その様子を災害復興ニュース(1号～8号)にして発信しました。



家具や畳(重い!)の片づけ



床下の泥出しは大変な重労働



蔵の中にも土砂が



↑ごみ処理施設での焼却が追いつかず、
現在は使われていない小学校の校庭が仮置き場に



2.東日本大震災、福島第一原事故避難者支援の取り組み

- 10/17(土) 第40回いわき市四倉仮設住宅お茶会報告
参加者:10名 スタッフ:11名(うちボランティア2名) 合計21名
メニュー…雑穀米、ごま塩ごはん、おでん、きゅうりの漬物、切り干し大根、煮もの、りんごの甘煮、蒸しパン 他
手芸…押し花をラミネートして作るランチョンマット(リクエストに応じて2度目)

スタッフ感想

- ① 集まる人の顔ぶれは変わらないが、言葉にしなくても互いに分かり合える関係になってきたのが嬉しい
- ② いつも来る星さん、今日は見えず、聞いてみたら「息子さんと一緒にお見舞いに行っている」と聞いた。来ない方がいると、どうしたのかと心配になる。継続して通っているからこそその関係性だと思う。
- ③ 今回で40回目になる。私はボランティア参加で久々だったが、こうやって続けてきたからこそ「馴染みの人に会えるお茶会、こんにちはの関係」になれたのだと思う。
- ④ なんでもそうだが、継続することが大切だと思う。でも、ここでの暮らしが長い状況は決して良いことだとは思っていないので、早く皆が帰れる日を望んでいる。
- ⑤ 前に作ったランチョンマットも、押し花の色が残っている。こういうものは、ずっととっておけるからいいわね、と喜ばれた。
- ⑥ ランチョンマットを作り、町の文化祭に出品したと言っていた。形になって残る物がうれしい。
- ⑦ 皆さん、マット作りに集中していた。押し花をこんなに用意するのは大変だよ～、ありがとう。と言ってもらい、喜んでもらえてよかったと思う。
- ⑧ おでん、いつも一人用の出来合いのを買っているが、今日のおでんは色々と煮込んであつてとてもおいしい、と喜んでくれた。鍋の時もそうだが、自分で作ると量が多すぎて困るような料理が喜ばれている。
- ⑨ 国本さん「内緒で」と前置きしてから「家を買ったので、もう少ししたら引っ越す」とのことだった。犬を飼っているのでアパートはダメで、県内外を探していたが、やっと茨城に中古の家が見つかったとのこと。
- ⑩ 毎月来てくれてありがとう。嬉しい、来てくれればそれで何も言う事はないです。(被災者の鯨岡氏)
- ⑪ 先日、鯨岡さんから県連に電話があり「山芋を掘るから、準備をしてくるように」とのことだった。予定通り今日は自然薯を掘った。一本長く掘るには大変な労力があることを知った。腰も痛いし、首が痛くなった。この年にして、農家の苦労を知った。
- ⑫ 今日の為に、いろいろ準備してくれた鯨岡さんに感謝します。〈次回は11月28日(土)〉

- 10/7(水) みやぎ生協さんの報告をもとに、東日本大震災と津波の被害からの「いま」を追う「3.11を忘れない～被災地のいま～」で、第26回「地域再生に向けて～交流観光で南三陸町ファンを拡大～」をアップしました。

